# 剣道部のしごき、おちんちん丸出しで練習させられる男子たち

A高校は剣道日本一の伝統ある高校だ。毎年日本選手権で優勝者を出し、大学も名門校へ進学する生徒が多数輩出されている。なぜこの高校はこんなに剣道が強いのか？それはこの高校ならではのしごきにあった。

4月、新入生が入部して初めての練習の日の午後5時半。今日は毎年恒例の「特別稽古」が始まろうとしていた。

佐藤部長が竹刀を肩に担ぎ、男子新入生たちを前に立った。「今年も生き

の良い新入部員がたくさん入ったな。それでは特別稽古を始める。男子新入部員は毎年これを乗り越えて強くなるんだ。男子は全員、今日1日丸裸で稽古。股間を隠すな。隠そうとしたら追加50本素振りだ。女子にもしっかり見せつけてやれ」

男子の新入部員5人が顔を赤らめながら頷いた。中学までは普通の部活しか知らなかった彼らにとって、この高校の剣道部のこの伝統は衝撃的だろ。だが拒否は許されない。皆これがあることを承知の上で入部してきているからだ。

一方、道場の壁際に座っている女子部員は総勢15名。そのうち半数は新入生の女子たちだった。入ったばかりの1年生女子たち。好奇心と緊張が入

り混じった目で、男子たちを見つめている。

「じゃあ、脱げ」

命令がくだされ、男子たちは道着を脱ぎ、袴と下着も一気に下ろした。5本のおちんちんが、冷たい空気に晒された。